

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2013年1月31日
【四半期会計期間】	第42期第3四半期（自 2012年10月1日 至 2012年12月31日）
【会社名】	株式会社サンデーサン
【英訳名】	Sunday's Sun INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 國樹
【本店の所在の場所】	東京都港区港南2丁目18番1号
【電話番号】	(03)6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部 部長 戸田 慎也
【最寄りの連絡場所】	東京都港区港南2丁目18番1号
【電話番号】	(03)6833 - 8833
【事務連絡者氏名】	管理部 部長 戸田 慎也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第3四半期 累計期間	第42期 第3四半期 累計期間	第41期
会計期間	自 2011年4月1日 至 2011年12月31日	自 2012年4月1日 至 2012年12月31日	自 2011年4月1日 至 2012年3月31日
売上高 (千円)	13,042,568	12,987,018	17,215,589
経常利益 (千円)	533,387	654,319	649,503
四半期(当期)純利益 (千円)	444,309	523,234	628,997
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,958,080	2,958,080	2,958,080
発行済株式総数 (千株)	16,114	16,114	16,114
純資産額 (千円)	3,330,253	4,051,755	3,525,192
総資産額 (千円)	12,260,920	11,823,262	11,995,715
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	27.70	32.62	39.22
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	27.2	34.3	29.4

回次	第41期 第3四半期 会計期間	第42期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 2011年10月1日 至 2011年12月31日	自 2012年10月1日 至 2012年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.33	5.90

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

1. 経営成績の分析

当第3四半期累計期間（2012年4月1日から2012年12月31日まで）におけるわが国経済は、一時は緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、先行き不透明な状況が続きました。外食産業におきましては、雇用・所得環境の先行き不安等により個人消費が低調に推移する中、原材料価格は依然として高値圏で推移しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社は、「おいしい料理」「心のかもったサービス」「清潔なお店」で、お客様に満足していただくことを基本に、「アメニティレストラン＝居心地の良いレストラン」づくりに全力で取り組んでまいりました。

主力業態であるジョリーパスタにおきましては、「パスタならジョリーパスタ」をテーマに、パスタ専門店の魅力をよりお客様へアピール出来るよう、40種類を超える豊富なパスタメニューの更なる充実を図るとともに、ベビーリーフなど8種の新鮮野菜を彩りよく仕上げた旬のこだわりフレッシュサラダや、古くからワインの名産地として知られるイタリア中部トスカーナ州のワインを取り揃えるなど、イタリアンの食卓を一際引き立たせる豊富な品揃えで、商品強化に取り組んでまいりました。

また、テレビコマーシャルを放映し、旬の食材をふんだんに使用した季節メニューを訴求するなど、効果的な販売促進にも積極的に取り組み、売上高の拡大を図った結果、当第3四半期累計期間の既存店売上高は、前年同期比103.4%と堅調に推移し増収を達成いたしました。

当第3四半期会計期間末の店舗数につきましては、前期末より増減なく、ジョリーパスタ217店舗、フラカッソ23店舗、その他6店舗の合計246店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高129億87百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益6億55百万円（前年同期比14.0%増）、経常利益6億54百万円（前年同期比22.7%増）、四半期純利益5億23百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

2. 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、主に現金及び預金の増加2億13百万円、敷金・差入保証金の減少1億46百万円等により、118億23百万円となりました。

負債は、前事業年度末と比較して、借入金の減少5億32百万円等により、77億71百万円となりました。

純資産は、前事業年度末と比較して、四半期純利益5億23百万円等により、40億51百万円となりました。

3. 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

4. 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
計	45,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2012年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2013年1月31日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,114,000	16,114,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株
計	16,114,000	16,114,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2012年10月1日～ 2012年12月31日	-	16,114,000	-	2,958,080	-	330,768

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である2012年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2012年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 75,300	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,038,000	160,380	同上
単元未満株式	普通株式 700	-	同上
発行済株式総数	16,114,000	-	-
総株主の議決権	-	160,380	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式79株が含まれております。

【自己株式等】

2012年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社 サンデーサン	東京都港区港南2-18-1	75,300	-	75,300	0.47
計	-	75,300	-	75,300	0.47

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（2012年10月1日から2012年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（2012年4月1日から2012年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	274,506	488,421
売掛金	113,769	67,140
商品及び製品	52,931	9,962
原材料及び貯蔵品	135,301	138,862
その他	665,717	682,306
貸倒引当金	443	224
流動資産合計	1,241,782	1,386,469
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,683,929	2,779,924
土地	2,986,997	2,986,997
その他(純額)	1,611,619	1,372,384
有形固定資産合計	7,282,545	7,139,306
無形固定資産	102,571	83,739
投資その他の資産		
敷金	2,149,187	2,146,437
その他	1,219,628	1,067,310
投資その他の資産合計	3,368,815	3,213,747
固定資産合計	10,753,932	10,436,792
資産合計	11,995,715	11,823,262
負債の部		
流動負債		
買掛金	483,834	497,485
関係会社短期借入金	181,757	4,992,235
1年内返済予定の長期借入金	307,500	120,000
1年内返済予定の関係会社長期借入金	1,360,000	-
未払金	249,290	228,830
未払費用	477,228	537,674
未払法人税等	129,893	129,816
賞与引当金	109,358	38,461
その他	520,953	534,311
流動負債合計	3,819,816	7,078,814
固定負債		
長期借入金	135,000	45,000
関係会社長期借入金	3,705,000	-
資産除去債務	73,548	74,460
その他	737,158	573,231
固定負債合計	4,650,707	692,691
負債合計	8,470,523	7,771,506

	前事業年度 (2012年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2012年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,958,080	2,958,080
資本剰余金	330,768	330,768
利益剰余金	271,179	794,414
自己株式	44,445	44,445
株主資本合計	3,515,582	4,038,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,609	12,938
評価・換算差額等合計	9,609	12,938
純資産合計	3,525,192	4,051,755
負債純資産合計	11,995,715	11,823,262

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)
売上高	13,042,568	12,987,018
売上原価	3,979,678	3,733,119
売上総利益	9,062,889	9,253,899
販売費及び一般管理費	8,488,002	8,598,493
営業利益	574,886	655,406
営業外収益		
受取利息	12,226	10,221
受取配当金	4,445	4,225
貸貸収入	109,922	133,062
貸倒引当金戻入額	-	219
その他	3,950	14,973
営業外収益合計	130,544	162,702
営業外費用		
支払利息	95,747	70,386
貸貸収入原価	75,368	82,829
その他	928	10,573
営業外費用合計	172,043	163,789
経常利益	533,387	654,319
特別利益		
会員権売却益	7,150	-
その他	315	-
特別利益合計	7,465	-
特別損失		
固定資産除却損	1,004	801
サービス中途解約損	3,259	-
貸貸借契約解約損	-	4,095
特別損失合計	4,263	4,896
税引前四半期純利益	536,589	649,423
法人税、住民税及び事業税	81,501	119,877
法人税等調整額	10,777	6,311
法人税等合計	92,279	126,189
四半期純利益	444,309	523,234

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
減価償却費	565,766千円	575,164千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

1 配当に関する事項

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

当社は、外食事業単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	27.70円	32.62円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	444,309	523,234
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	444,309	523,234
普通株式の期中平均株式数(株)	16,038,695	16,038,621

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年 1月30日

株式会社サンデーサン
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 仲澤 孝宏

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 真美

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンデーサンの2012年4月1日から2013年3月31日までの第42期事業年度の第3四半期会計期間(2012年10月1日から2012年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(2012年4月1日から2012年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンデーサンの2012年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。